

種別	名称	所在地	推薦理由・物語 (内容は認定当時。また文章表記は統一していません。悪しからずご了解ください。)	分類 1	分類 2	全体 通番	認定 年度	年度 通番
コト	とよた五平餅	市内	とよたの郷土食・五平餅の発祥と分布の物語を、地域の食文化として大切に、販売店だけでなく市民を巻き込んで面白い五平餅の広報活動を進めている。	活動	食文化	4	28	4
コト	橋の下音楽祭	白浜町	豊田大橋下で行われる大衆芸術音楽祭。電力はソーラー発電等による自家発電、舞台装置等も手作り、投げ銭形式で行われている。開催期間は全国からこの祭りを目指して人が集い、交流し、橋の下から強烈な熱気を発信している、とよたを代表するイベントの一つ。	活動	交流	6	28	6
コト	木桶再生	榑塚西町	野田味噌商店では、約110年前に使用されていた味噌桶を分解し、約100kg分の小さな桶に再生して味噌作りをしています。今後も再生活動を進め、体験等の味噌桶として活用していきたいとのこと。	活動	食文化	22	28	22
コト	水無瀬川緑道の桜並木	四郷町天道	3百本近い桜が植樹されており、桜の季節の景色は壮観です。地元の方々により周辺も整備され、現在も桜の植樹等の整備が続けられています。	自然・景観	景観	23	28	23
コト	巴川穂積橋付近・河川敷の風景	則定町	地区の人の植樹、管理によって美しく保たれている川岸の風景。周辺には烏帽子岩や金精大明神など地域の名所も所在しています。	自然・景観	景観	25	28	25
コト	石川氏クラシックカーコレクション	永覚町上長根	個人で収集した1928年式のフォード車等、数十台のクラシックカーやバイクを展示・公開しています。	活動	収集	28	28	28
コト	隠れ里のパワースポット	富永町	人里離れた場所にある生命力を感じるパワースポット。断崖絶壁に神社と不動明王などがまつられており、山里暮らしの生活の中で個人の信仰心が形になったところが興味深いです。(信仰対象としては評価しません)	生活文化	地域性	29	28	29
コト	ライブカフェ「足助のかじやさん」	足助町	廣瀬明史さん(故人)が始めたライブカフェ。町並みや人、家族など身近な題材を足助の歌にしていた廣瀬さんの人柄が表れた場となっている。現在は鍛冶屋とライブカフェを息子さんが継ぎ、先代の雰囲気を残しつつ新たな交流の場となっています。	活動	交流	30	28	30
コト	豊田市南部に残る「鎌倉街道」	駒場町～中田町地内	豊田市南部の駒場町から駒新町、中田町にかけての地域には、京都一鎌倉間を結んだ鎌倉時代の街道が通っていたとの伝承があり、鎌倉街道と呼ばれています。地元では、この街道筋を「(旧高岡町)町道1号鎌倉線」と称し、長年親しまれています。	歴史	地域性	31	29	1
コト	豊田スタジアム周辺の大パノラマ	千石町周辺	豊田スタジアム周辺の壮大な景観。豊田大橋やスタジアムの大きな人工物そのものの景観と、豊田大橋やスタジアムから望む猿投山や矢作川などの自然と、トヨタ自動車の工場群、市街地などが一体となった景観を楽しめます。	自然・景観	景観	32	29	2
コト	船渡薬師堂の金精大明神	則定町	鈴木正三ゆかりの舟渡(栃ノ実)薬師堂の脇にまつられている金精大明神は、もともと巴川に橋がない時代、渡し舟の鞆綱を架けるために使われていたようです。後年、その形に感心した地元の人たちが、今の場所に安置したという面白い来歴を持っています。	歴史	地域性	34	29	4
コト	小田木品評会	小田木町地内	今から100年ほど前、明治44年(1911)から続く小田木集落の伝統行事。地元の人々が作った農作物等の出来栄を、「競り」の形で評価します。売り上げを集落のお祭りの運営費にす回すため、「ご祝儀」として高値で競り落とすことが慣例となっています。	生活文化	地域性	37	29	7
コト	勤八峡と三水湖	勤八町他地内	三水湖は、越戸ダムの建設によって、矢作川にできた人造湖。ダムができる前は、岩が露頭する狭小な渓谷「勤八溪」で河川交通の難所でもありました。それらの歴史を含め、現在はカヌーの練習などにも利用されている姿も、後世に伝えていきたいです。	自然・景観	景観	40	29	10
コト	足助屋敷の寒茶	足助町	煎茶とは異なる煮出して飲むお茶。独特の香りと味があり、昔は農作業等の際にやかんに入れて持って行ったといわれます。足助屋敷で昔ながらの製法で作られています。	活動	食文化	44	30	3

コト	矢作川の「カッパ」	市内	矢作川、というよりは矢作川に関する行事に出没するカッパ。「着ぐるみ」的ではなく、生身に近いカッパですが、主に陸地で活動しています。好物は、俗説のきゅうりよりもお酒。	活動	交流	46	30	5
コト	末野原駅周辺の茶園風景	豊栄町	トヨタ自動車本社のある三河豊田駅から一駅という立地で住宅街化が進む地域ながら、昔ながらの茶園風景が守られています。	自然・景観	景観	52	30	11
コト	復活！トヨロック	千石町	昨年台風で払い戻しなどで大きな損害があったトヨロックが、クラウドファンディングで見事復活し、さらに盛大に豊田を盛り上げるイベントになりました。すでに有名なイベントではあるけれど、とよたにこれだけの質の高い催事があることを誇りに思います。	活動	交流	53	30	12
コト	お須原山の縁結び(縁結び岩・結びの電話)	東萩平町	御鋤神社のそばにある大きな花崗岩の表面にある小さな穴に、糸や松葉を通して結ぶと縁が結ばれるという「縁結びの岩」と、線はつながっていないけれど心に思う誰かに通じる、お須原山の山頂に設置された公衆電話「結びの電話」の存在が面白いです。	活動	交流	56	30	15
コト	小渡の御祭典	小渡町	由来は不明だけれど、地元の方々がお祭りの際に各組で仮装して踊ることを楽しんでいます。	生活文化	地域性	57	30	16
コト	街道を往来する幻の親王・尹良親王伝説	足助町、黒田町、御	尹良親王(1364-1424)は、南北朝時代に活躍した南朝方の皇族で、旧伊奈街道(中馬街道)沿いの各地に伝説を残しています。伝説的な話但实际上に地名や品物となって形になるところが面白く、尹良親王伝説を軸とした地域のつながりを考えるうえでも興味深いところではあります。	歴史	伝説	59	1	1
コト	「手軽に見える絶景」Mt. 押山	押山町	押山は標高783mの山で、愛知130山の一つに数えられています。近くまで車で行くことができ、10分ほどで登頂できます。秋から初冬にかけて条件が整えば、壮大な雲海の景色を見ることができます。地元の押山歴史探検隊が整備しています。	自然・景観	景観	60	1	2
コト	家具と暮らし+カフェ「ヒトキ-人と木-」	稲武町	<ヒトキ-人と木->は、愛知県豊田市・稲武地区にある、家具工房『first-hand』が主宰する家具と暮らし+カフェです。家具工房、カフェの運営、文化の学び場の実施まで含めて、特徴的な活動の場として面白いです。	活動	交流	61	1	3
コト	人生を耕す読み物「耕ライフ」	平戸橋町	「人生を耕すためのライフスタイルマガジン」とよたを代表する地域密着情報誌です。発行部数15,000部。48P。その質感と内容は、豊田市への移住を呼び込むと言われるほど。日本タウン誌・フリーペーパー大賞などの受賞歴もあり、とよたの魅力発信とともに、魅力も作っています。	活動	交流	63	1	5
コト	三河の秀峰・猿投山	猿投町ほか	矢作川の河口からもその姿を見られる美しい姿の猿投山。他の山塊から独立して鎮座する姿は矢作川の河口からもわかり、畏敬の念を呼び起こします。豊田市を代表する山の景観や、そこにある歴史や文化など、全体を含めたコトとして未来につなげたいです。	自然・景観	景観	64	1	6
コト	温故知新のエンターテイメント・古橋会の活動	稲武町	一般財団法人古橋会が所管する古橋懐古館の周辺では、山里の歴史文化の発信や、養蚕から製糸、伊勢神宮への献糸など、古橋家の歴史を繋ぎながら新たな地域の暮らしを探る活動が展開されています。温故知新のエンターテイメントとして世間に知っていただきたいです。	活動	交流	65	1	7
コト	笑いの殿堂・笑劇派	平戸橋町	愛知県豊田市を拠点に、舞台から記憶に残る笑いと感動を全国に届けているお笑い劇団です。老若男女どなたでも楽しめる新喜劇をはじめ、各種イベント司会、テレビ・ラジオ出演をしています。1998年に創設。平戸橋地区を案内するツアーも催行するなど、地元愛も熱いです。	活動	交流	66	1	8
コト	暮らし方開拓「INABU BASE PROJECT」	桑原町	トヨタケ工業では、平日週3日は事業所で働き、土日は自然豊かな稲武地区でマウンテンバイク等の山岳ガイド業をして、他平日に休むという新しい働き方を提案する「INABU BASE PROJECT」を立ち上げ、新たな暮らし方も開拓する面白い取り組みをしています。	活動	交流	67	1	9
コト	おもちゃ博物館	金谷町	総数1,200点以上の個人コレクションを公開する施設です。2002年開館。コレクションは、自動車のおもちゃを中心に、ブリキのおもちゃ、ホーロー看板等、多種多様な昭和のおもちゃです。自宅の一部にある展示室は見学無料。不定休なので見学の際は事前連絡必要。	活動	収集	68	2	1
コト	妙楽寺トライアル場	花沢町	妙楽寺の裏にモトクロス用のコースが造成されています。室町堀なども作られていて、面白いところになっています。	活動	交流	70	2	3

コト	軽トラ行灯パレード	小原地区	きらびやかな照明がない小原の夜の暗さを生かし、小原だからこそできる灯りの催事です。地域を巻き込んで行われているコトに温かみも感じます。	活動	交流	73	2	6
コト	今は昔の鉄の道・鉄道廃線跡	市内	名鉄三河線(猿投ー西中金ー足助)、挙母線、トヨタ関連引込線(土橋駅、上郷)、窯業関連引込線(枝下)など、市内各所に残る鉄道廃線跡(実現しなかった計画路線も含む)。輸送や交通の変遷、地域の生活の歴史を物語る遺構としても興味深い。廃線跡が形作る独特の景観や醸し出す雰囲気も、単純にそのままの姿で美しかったり面白かったりする。橋梁やトンネル、架線用の柱など安全上保存し難い構造物もあるが、できるだけかつて鉄道が通っていたことを伝えていただきたい。	歴史	地域性	79	3	1
コト	自然と人工の不協和音・構造物による妙な景観	市内	砂防ダムや擁壁、岩の接着工など、人工の構造物が周囲の自然や生活風景となじみ、面白いまたは美しいと思わせる「妙」な景色を作り出しているところ。基本的に構造物単体では評価しない。花崗岩地帯で山地も多い豊田市域には、斜面の崩れや落石、土砂災害などを防ぐために山肌に擁壁や岩の接着などが施された場所が数多くある。その中には、もともとの自然と人工の構造物が「妙」に面白い景観を作っている場所もある。豊田市の地勢と人と自然の相互作用を示すものとして、独特の景観として意識してみたい。	生活文化	地域性	82	3	4